



【北海道】市立釧路総合病院

たぶん北海道は

皆さんの想像よりもはるかに広い。その東端に位置する釧路市は、近隣に3つの国立公園（釧路湿原・阿寒摩周・知床）を有しており、身近な大自然の懷で観光・温泉めぐり・アウトドアなどの楽しみに事欠きません。また豊かな海産物・農産物に恵まれた味の街でもあります。特筆すべきは夏の涼しさと、海流の影響のために25℃を超えることは稀で、真夏でもクーラーが不要です。最近では、涼しさを求めて長期滞在する人も増え、IT関連のクリエイターが本拠を移すケースも。釧路というと霧のイメージが強いのですが、秋以降は晴天が続き、冬はそれなりに気温が下がるものの、降雪量は少なく過ごしやすい街です（北海道基準ですが）。



飛翔する丹頂鶴



夕日に染まる釧路湿原

市立釧路総合病院は、このような道東の広大な医療圏を担っており、地域センター病院・地域がん診療連携拠点病院・周産期母子センター・へき地医療拠点病院・救命救急センター・臨床研修指定病院等に指定され、ICU、NICUを含む643床を有し、ドクターヘリも頻繁に稼働するなか、「地域完結型医療を目指して」「都会じゃないから救えないとは言わせない」をモットーに、19診療科・84名の医師と7名の研修医が日夜診療にあたっています。病院ホームページ：www.kushiro-cghp.jp/ をご参照ください。

釧路から札幌までは直線距離で330km（東京～名古屋間に相当）、出張医の主な移動手段は飛行機になります。患者も地元以外での治療選択は厳しいものがありますので、難しい症例に対しても自らの力で立ち向かう強い覚悟が必要です。しかしながら、豊富な症例・貴重な症例を経験できますし、「病院ずれしていない」患者と接することは、医師という職業の原点に思い至る、得がたい体験です。

当院は北海道大学泌尿器科の主要な関連施設の一つです。泌尿器科構成メンバーは現在6名（うち指導医4名）、出身は北海道大・札幌医大・旭川医大・弘前大とさまざまですが、世代を越えて活発に意見交換しながら診療にあたっています。それぞれの得意分野は、腎移植・血管外科・透析・ロボット支援を含む鏡視下手術・癌の治療・神経因性膀胱・尿路結石・女性泌尿器科・小児泌尿器科・男性機能、など、ほぼ泌尿器科全域にわたる内容を網羅しています。若い先生にも主体的に治療に参加してもら

いますし、意欲があれば、他から「えっ」と驚かれるような手術もどんどん執刀してもらっています。充実した研修を希望する方の期待を裏切ることはないでしょう。毎朝夕の回診のほか、手術&レントゲンカンファレンス、透析カンファレンス、重大症例のカンファレンスなども活発です。また地域全体として、年3回の「釧路地区泌尿器科研究会」を開催し、症例や研究の発表・論文抄読などを行っています。学会発表・論文も多く、ここ2年連続で海外での発表も行なっております。

この1年の診療概要は、

- ・平均入院患者数38名/日・外来患者数138名/日（透析患者含む）
- ・血液透析118名・腹膜透析27名
- ・手術室手術数643件、尿管ステント留置51件、ESWL 231件

手術の内訳は、

- 腎移植 5（生体4、献腎1）、●副腎摘出術7（鏡視下6・開放1）、●腎摘出術29（鏡視下28、開放1）、●腎尿管全摘術7（鏡視下6・開放1）、●腎部分切除術4、●腎盂形成術2、●前立腺全摘術45（ロボット支援下41、開放手術4）、●膀胱全摘術11、●TURBT 140、●TURP 20、●前立腺生検110、●高位精巣摘出術10、●TUUL 12、●外傷後の尿道形成術2、●陰茎部分切除術2、●陰囊壊死性筋膜炎デブリードマン2、●シャント関連手術96、CAPD関連手術31、●TVM 22、尿道スリング6、●膀胱水圧拡張6、●小児手術32（陰囊内疾患20、尿道下裂形成5、腎盂形成2、逆流防止術2など）

というように、単一施設としてはなかなか経験できないような、大変バラエティーに富んだ内容です。

病棟回診のたびに、南に太平洋の水平線、北に阿寒・知床連山の山稜、眼下には春採湖を眺め、また遮る物のない広い空を仰ぎ見えています。一緒に学びながら、泌尿器科学の発展に思いを馳せてみませんか？



2017メンバー 左から

村雲雅志・山田修平・森田研・谷口成実・青柳俊紀・守田卓人